

Novonesis Biosolution のご紹介

ノボザイムズ社は、クリスチャン・ハンセン社と合併してノボネシスになりました

座長：眞野 弘範

日時：3月11日 12:15~13:05

会場：B2会場 / RY202

1) Biosolutions in Crop and Pasture Production: New Pathways for Increased Productivity and Sustainability in Agriculture



農業におけるバイオソリューション：
生産性向上と持続可能な農業に向けた新しいパスウェイ

Ross Gilmour

Novonesis, Consultant Agronomist, BioAg Southeast Asia

日本の農業生産性と持続可能性を高めるためには農作物や牧草の効率的な栄養供給および非生物学的ストレス耐性の向上が重要である。

日本の土壌の約25%を占める黒ボク土は、高いリン吸着特性を持ち、微生物活動がリン循環において重要な役割を果たしている。リン溶解能を有する微生物を農作物に接種することで、リン肥料の使用量を削減しつつ収量を維持・向上させ、農業の炭素排出量を低減する可能性が示唆されている。また、有用微生物は干ばつによるストレスを軽減し、抗酸化物質を豊富に含むバイオスティミュラントは高温の影響を緩和する手段となる。今回は、ノボネシスの持つ農業におけるバイオソリューションの例を紹介し、日本の農業システムを改善する可能性について議論する。

2) Biosolutions for sustainable plastics

持続可能なプラスチックにおける
バイオソリューション

Anders Klitholm Jessen

Novonesis, Sr. Global Marketing Manager, Bioprocessing



プラスチックは非常に便利で現在も世界中で大量に製造、消費されているが、主に石油を原料として生産されており、環境中で分解されにくいことから海洋汚染、微細化したマイクロプラスチックなどが社会問題となっていることから、バイオ原料からのプラスチック生産や、環境中で分解されやすい生分解性プラスチックの開発が進んでいる。

今回はノボネシスで進めてきた、バイオ原料からのプラスチック生産を効率化する酵素や、プラスチックの分解、再利用を可能とする酵素の開発に関する話題を提供したい。

novonesis